

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所主催／地域研究コンソーシアム協賛
平成 17 年度 中東・イスラーム教育セミナー 募集要項

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所は、本年度から、文部科学省特別教育研究経費による中東イスラーム研究教育プロジェクトを発足させました。その基幹事業の一つとして、下記の要領で全国の大学院生を対象とした「中東・イスラーム教育セミナー」を開催し、受講生を募集いたします。このセミナーは、地域研究コンソーシアムの協賛を受けて行うものです。

記

1. 開催期間 平成 17 年 7 月 26 日(火)～29 日(金)の 4 日間
2. プログラム 別紙を参照のこと
3. 開催場所 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (東京都府中市朝日町 3-11-1)
4. 応募資格 イスラームに関連する人文・社会科学研究 (地域研究・歴史学・人類学・政治学・経済学・社会学・国際関係論・移民研究など) を志す大学院生、もしくはそれに相当する研究歴を持つ者で、受講期間を通じて講義に出席し、討論に積極的に参加する意思を持つ者。
5. 募集人員 約 25 名。
6. 受講料 無料。
7. 応募方法 下記に挙げる必要書類 3 点を下記応募先あてに郵送する。または、事務局へ持参する。(受付時間：平日 11.00～17.00、6 月 15 日のみ 15.00 まで)

必要書類 3 点

- (1) 履歴書：市販の履歴書用紙に記入すること (身上書欄・写真は不要。ただし、口頭発表・論文等の研究業績があれば記すこと)
 - (2) 小論文：イスラームを対象に、応募者が関心を抱いている問題について、2000 字程度にまとめたもの。様式は特に指定しない。
 - (3) 返信用封筒：応募者の連絡先を表に記入し、80 円切手を貼付したものを。
8. 応募先 〒183-8534 東京都府中市朝日町 3-11-1
東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイエンス研究企画センター内 中東・イスラーム研究教育プロジェクト事務局

9. 応募締切 平成 17 年 6 月 15 日(水) 必着 *持参の場合は 15.00 締切
10. 受講者の 中東・イスラーム教育セミナー実行委員会において選考のうえ、6
決定 月下旬までに応募者に通知する。
11. その他 (1) セミナー開催期間中の宿泊場所は、各受講者が手配すること。
(2) 応募書類は返却しない。
12. 問合せ先 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 フィールドサイ
エンス研究企画センター内 中東・イスラーム研究教育プロジェク
ト事務局
e-mail: meis@aa.tufs.ac.jp tel: 042-330-5665 (10.00-18.00)

以上

附表：担当教員一覧

大塚和夫、大稔哲也、近藤信彰、黒木英充、新井政美、宮崎恒二

*詳しくはアジア・アフリカ言語文化研究所 web ページ <http://www.aa.tufs.ac.jp/>
より該当リンク先を参照。

別紙

2005 年度中東・イスラーム教育セミナー プログラム

月 日	時 間	内 容	講演者・発表者
7月26日(火)	13:00-13:20	所長挨拶、教育セミナー趣旨説明	内堀基光、大塚和夫
	13:20-15:00	受講者自己紹介（1人4分程度）	
	15:15-17:15	セミナー1「中東・イスラームというフィールド——さまざまなアプローチの布置」	大塚和夫
	17:30-19:30	懇親会（所内コモンルーム）	
7月27日(水)	10:00-11:10	受講生による研究発表1	受講生1名
	11:20-12:30	受講生による研究発表2	受講生1名
	13:30-15:30	セミナー2「歴史学研究とフィールド——エジプトにおける事例を中心に」	大稔哲也（九州大学）
	15:45-17:45	セミナー3「イランとペルシア語文化圏——地域研究と歴史学」	近藤信彰
7月28日(木)	10:00-11:10	受講生による研究発表3	受講生1名
	11:20-12:30	受講生による研究発表4	受講生1名
	13:30-15:30	セミナー4「多面体としてのアラブ——研究方法自体の多様化と深化のために」	黒木英充
	15:45-17:45	セミナー5「現代トルコの位相——ナショナリズムとイスラムの狭間で」	新井政美
7月29日(金)	10:00-11:10	受講生による研究発表5	受講生1名
	11:20-12:30	受講生による研究発表6	受講生1名
	13:30-15:30	セミナー6「深層と表層の間——ジャワにおけるイスラーム」	宮崎恒二
	15:45-16:45	セミナーの感想・評価、修了証授与	

*セミナーは原則として講演1時間、質疑応答・討論1時間。

*受講者による研究発表は30～40分、その後、質疑応答・討論を30分程度行う。

*応募書類のうち、履歴書には専攻を明記すること。

*受講希望者のうち、発表を希望する者は応募書類に発表希望テーマを記載すること。
なお、希望者多数の場合には、審査のうえ発表者を決定する。

*研究発表を行う受講生の氏名と発表タイトルを掲載した最終プログラムは、7月中旬までに受講者全員に発送する。

*本プログラムは暫定的なものであり、受講希望者数、発表希望者数に応じて変更されることがある。